



第3回 熊本県山都町通潤橋復興支援～チャリティランチ～開催

昨年に引き続き、今年も遠く離れた東京から、通潤橋の復興を支援して下さるチャリティランチイベントが1月に東京のラ・ロシェル南青山本店で開催され、2月18日、主催者である台所文化伝承家/食育・受験フードアドバイザー中原麻衣子さんが町長を表敬訪問されました。

「通潤橋の復興にぜひ役立てていただきたい」と熱い気持ちと共にチャリティランチの収益の一部を寄付されました。

イベント当日は、料理の鉄人坂井宏行シェフが登場され、総料理長 川島孝シェフと山王店料理長 楠野大シェフによる山都町の食材を使った『玄米フルコース』が提供されました。また、山都町から米の生産者である松川陽一さん、三浦祝弘さんとともに、県の営業部長くまモンも応援に駆けつけ、大盛況だったそうです。

目録を受け取られた町長は、「一日も早い復興を約束します」と力強く述べられました。



目録を手渡される中原さん（写真右）

山都町のお米消費大作戦！ 米粉研修会 開催

2月2日、矢部保健福祉センター千寿苑にて、白米第一自治振興区主催の米粉研修会が開催されました。

米粉は、その名のとおりお米を粉にしたもので、良質なタンパクを含む栄養価の高い食品です。昔からだんご、和菓子などの食品に使われてきましたが、最近ではパンや洋菓子などにも用いられるようになり、お米の新しい需要につながることから期待が高まっています。山都町の美味しいお米の消費拡大を進める手立ての一つにもなります。

グルテンフリー*の身体に優しいお菓子を製造販売するK'S FOOD LABの代表、小野 佳子さんを講師にお招きし、37名の参加者が米粉について学び、実際に米粉を使ってクッキーを作りました。

参加者からは、「米粉を小麦粉の代わりに使うメリットがたくさんあり、これから米粉をどんどん使っていこうと思いました。」という声が聞かれました。

*グルテンフリー…小麦粉等に含まれるグルテンを含まないこと



第45回 熊日市対抗熊日駅伝

2月10日、天草から熊本市までの14区間106.5kmをコースとする第45回熊日市対抗熊日駅伝が開催されました。山都町からは、10名の選手が郡代表として選出され、大会当日は6名の選手が出走し、郡の代表として懸命に走り、上益城郡の5位入賞の原動力となりました。上益城郡チームは、更なる上位入賞ができるチームであり、次年度以降の活躍が期待されます。

上段左から山崎選手（御所出身）藤本選手（菅尾）仁田水選手・今村選手（矢部高）八田コーチ（高月）後藤選手（熊工）一瀬選手（開新高）下段左から藤本選手・佐藤選手（蘇陽中）村山監督（麻山）梅田町長 村上選手・森崎選手（矢部中）

寒空の中、力走！～愛林駅伝大会～



沿道からの応援を受けながら力走する選手

2月16日、やまと文化の森をスタート・ゴールに、浜町商店街周辺を周回する第64回愛林駅伝大会が開催されました。今年は矢部中から5チーム、蘇陽中から4チーム、益城中から2チームの合計11チームが参加し、寒さを吹き飛ばすような熱い走りですすきを繋ぎ、益城中Aチームが見事優勝しました。

参加者には熊本森林管理署から大会名入タオル、緑川森林組合より樺の苗木が記念品として参加者に配られました。

第36回 熊日市対抗女子駅伝

1月28日、第36回熊日市対抗女子駅伝が開催されました。

山都町からは、矢部中から3名の選手が郡代表として選出され、当日は2名の選手が出走し、郡の代表として懸命に走りました。

結果は、18位と、昨年度から順位を落としましたが、若い選手の多いチームで、次年度以降の活躍が期待される走りを各選手が見せてくれました。

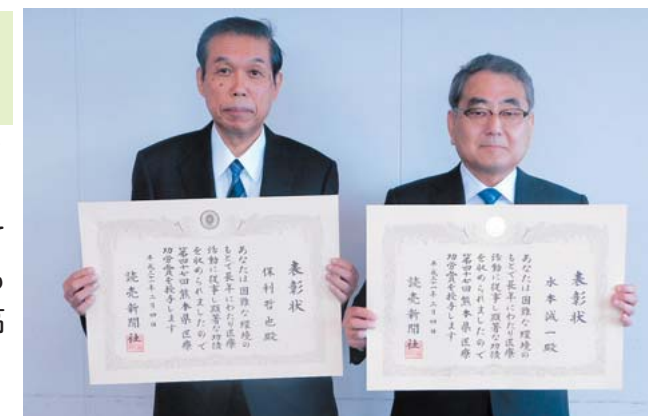


左から橋本選手（矢部中）井手教育長 梅田町長 阪本選手（矢部中）下竹選手（矢部中）木村コーチ（御所出身）

そよう病院 水本誠一院長 熊本県医療功労賞受賞

2月4日、そよう病院の水本誠一院長が「第47回熊本県医療功労賞」を受賞されました。

この賞は、地域に密着した医療に長年にわたって献身的に取り組まれてきた医療関係者を表彰するもので、水本院長のそよう病院における医療活動が高く評価されたものです。



水本誠一院長（右）、同時受賞の保利哲也医師（左：山鹿市保利病院長）